認証・試験申請書

発行日 年 月 日

改訂日 年 月 日

CSSC認証ラボラトリー

最高責任者　殿

住所

申請者の名称(法人名）

申請責任者名(サインまたは印)

EDSA認証スキーム(付録の規格)に基づき、下記のとおり申請します。

(1) 申請者に関する情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請責任者 | 所属･氏名 |  |
| 住　所 | （〒 - ） |
| メールアドレス |  |
| 連絡先 | 電話番号: FAX番号: |
| 認証作業中の連絡窓口 | 選択項目 | 申請責任者と同じ  その他（下記のとおり） |
| 所属･氏名 |  |
| 住　所 | （〒 - ） |
| メールアドレス |  |
| 連絡先 | 電話番号: FAX番号: |
| 認証取得後の連絡窓口 | 選択項目 | 申請責任者と同じ  認証作業中の連絡窓口と同じ  その他（下記のとおり） |
| 所属･氏名 |  |
| 住　所 | （〒 - ） |
| メールアドレス |  |
| 連絡先 | 電話番号: FAX番号: |
| 費用の請求先 | 選択項目 | 申請責任者と同じ  認証作業中の連絡窓口と同じ  認証取得後の連絡窓口と同じ  その他（下記のとおり） |
| 所属･氏名 |  |
| 住　所 | （〒 - ） |
| メールアドレス |  |
| 連絡先 | 電話番号: FAX番号: |

* **申請者が法人の場合、法人格を示す書類一式（登記簿、会社案内 等）を添付してください。**
* **申請責任者は、本申請に関して責任をもつ方を記入してください。**
* **認証作業中の連絡窓口は、本申請以降、認証取得するまでの連絡窓口の方を記入してください。**
* **認証取得後の連絡窓口が変わる場合は、必ずCSSC認証ラボラトリーに連絡してください。**

(2) 申請する製品および認証･試験プロセスで必要となる情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請区分  **※いずれかにチェックしください。**  **※取得済認証の評価結果の流用を希望する際は、取得済の認証番号を記入してください。** | | 新規  流用(過去の評価結果の流用を希望する場合)  評価結果を流用する認証の認証番号：[ ] |
| 試験区分  **※いずれかにチェックしください。**  **※EDSA認証の場合、対象レベル(最大の認証レベル)を指定してください。** | | CRT試験  EDSA認証  認証レベル1  認証レベル2  認証レベル3 |
| 希望するCRT試験デバイス  **※いずれかにチェックしください**  **※右記のCRT試験デバイスのみ対応可です。ご確認ください。** | | Achilles Test Platform |
| 申請対象の製品タイプ  **※いずれかにチェックしください。** | | Embedded Device  ※PLC、SISコントローラ、DCSコントローラ等  その他（ ） |
| 申請対象の製品情報 | | 申請受理後に、別紙の申請対象製品情報シートに申請対象製品についての情報を記載して提出してください。このシートを受領後に、正式な見積書を発行します。 |
| 製品の製造業者名  **※CRT試験のみの場合は不要です。**  **※当該情報は認証書に転記されます。** | 日本語表記 |  |
| 英語表記 |  |
| 製品の製造業者住所  **※CRT試験のみの場合は不要です。**  **※当該情報は認証書に転記されます。** | 日本語表記 | （〒 - ） |
| 英語表記 | （〒 - ） |

(3) 確認事項

下記1～4について、御回答ください。

1. **試験立会いの合意**

申請者は、特別な理由がない限り、CRT試験への立会いが必要です。

|  |
| --- |
| 合意する  合意しない（理由： ） |

1. **EDSA認証取得時のASCIホームページへの公開に対する承諾**

EDSA認証取得を公のものにするためには、取得した旨をASCIホームページへ公開することが必要です。その際には、CSSC-CLから申請(有償)します。

|  |
| --- |
| 承諾する  承諾しない（理由： ） |

1. **試験所および製品認証機関サーベランス時の情報開示に対する承諾（CRT試験の場合は不要）**

CSSC-CLが試験所および製品認証機関としての認定を維持するため、認定機関によるサーベランスを受ける際に、認証契約書に定める申請者の秘密情報を当該認定機関に開示する場合があります。開示が必要な情報は以下のものです。

・CRT試験関連

- 試験実施環境(ハードウェア構成、ソフトウェア構成等、実施した試験環境に関わる情報)

- 記録情報(CRT試験報告書、判定結果、通信ログ等、実施した試験の記録･結果に関わる情報)

・FSA/SDSA関連

- 審査記録情報(FSA/SDSAセルフチェックリスト、要求事項確認実施記録書等)

・評価報告書、認証報告書

なお、当該認定機関は認定契約に基づく守秘義務を負っていますので、CSSC-CLの許可なく第三者へ情報が開示されることはありません。

|  |
| --- |
| 承諾する  承諾しない（理由： ） |

1. **認証申請中の情報の公開（CRT試験の場合は不要）**

認証申請時点から「認証申請中」である旨の情報公開を希望するか否かを選択できます。

|  |
| --- |
| 希望する  希望しない |

|  |
| --- |
|  |

以下は記入しないでください。

|  |  |
| --- | --- |
| **受付番号** |  |

以上

アイテムを選択してください。

別紙 申請対象製品情報シート

# 製品名(できるだけ一義的に製品を特定できる名称を記載してください)

|  |  |
| --- | --- |
| 和名 |  |
| 英名 |  |

**※製品名は、和名(日本語表記)と英名(英語表記)の両方を必ず記入してください。**

# 製品型式(製品を特定できる型式を記載してください(複数可))

# 製品バージョン(ファームウェアのバージョンを記載してください)

**※以上の１～３の情報は、認証書に転記されます。**

# 評価対象

次の例にしたがって、評価対象および物理的・論理的に保護される境界を明らかにしてください。



XYZ Embedded

Controller



Analog

Input



Analog

Output



Discrete

Input



Discrete

Output

Locked Cabinet

Process Zone with restricted access

Scope of Evaluation

Local Maintenance

Port (RS232C)

Proprietary IO

Network (RS485)

Control

Network

(Ethernet)

Process under control

評価対象(Scope of Evaluation): EDSA認証のための評価対象

物理的な隔離境界(Locked Cabinet): 物理的に保護される境界

アクセス制限されたプロセスゾーン(Process Zone with restricted access): アクセス制限により保護される境界

# ハードウェアブロック図(評価対象を含むブロック図を記載してください。別紙として提示していただいても構いません)

# ソフトウェアブロック図(評価対象を含むブロック図を記載してください。別紙として提示していただいても構いません)

# アクセス可能なインタフェース(評価対象にアクセス可能な全てのインタフェースを記載してください。4の例では、Control NetworkとProprietary IO NetworkとLocal Maintenance Port の3つが挙げられます。別紙として提示していただいても構いません)

# データフロー図(アクセス可能なインタフェースを通じてやり取りされるデータフローを記載してください。別紙として提示いただいても構いません)

# 脅威分析に基づく保護資産(保護すべき資産を記載してください。別紙として提示していただいても構いません)

# 脅威分析に基づく脅威シナリオ(想定される脅威シナリオを記載してください。別紙として提示していただいても構いません)

# 想定するセキュリティ環境(セキュリティを確保するための前提となる環境条件を記載してください。別紙として提示していただいても構いません)

付録

CRT試験および EDSA認証は、以下の規格に基づいて実施されます。

付録-1. CRT試験(EDSA認証)

[EDSA-310] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Common requirements for communication robustness testing for IP based protocol implementations as specified at http://www.ISASecure.org (version 1.7)

[EDSA-401] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Testing the robustness of implementations of two common “Ethernet” protocols, as specified at http://www.ISASecure.org (version 2.01)

[EDSA-402] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Testing the robustness of implementations of the IETF ARP protocol over IPv4, as specified at http://www.ISASecure.org (version 2.31)

[EDSA-403] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Testing the robustness of implementations of the IETF IPv4 network protocol, as specified at http://www.ISASecure.org (version 1.31)

[EDSA-404] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Testing the robustness of implementations of the IETF ICMPv4 network protocol, as specified at http://www.ISASecure.org (version 1.3)

[EDSA-405] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Testing the robustness of implementations of the IETF UDP transport protocol over IPv4 or IPv6, as specified at http://www.ISASecure.org (version 2.6)

[EDSA-406] ISA Security Compliance Institute Embedded Device Security Assurance – Testing the robustness of implementations of the IETF TCP transport protocol over IPv4 or IPv6, as specified at http://www.ISASecure.org (version 1.41)

付録-2. FSA評価(EDSA認証)

[EDSA-311] ISA Security Compliance Institute - Embedded Device Security Assurance - Functional Security Assessment

付録-3. SDSA評価(EDSA認証)

[EDSA-312] ISA Security Compliance Institute - Embedded Device Security Assurance - Software Development Security Assessment